

都の風

MIYAKO NO KAZE

新春
号

2014年 No.36

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります

竹林はま様 111歳
生年月日 明治36年1月5日 左京区在住

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

そこでこの詩が我々の座右の銘となればと考えております。

今にいたり何らかの影響を受けた可能性も否定できません。

新らしい年を迎えて皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

さて長年渡辺家の家宝であつた宮沢賢治の余りにも有名な詩を公開します。

私は幼少のころから床の間に掛かっているこの詩を毎日眺めていたように思います。おもえば私たちが日頃していることが、この言葉の中に凝集しているのではないでしようか。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



1月の
ご長寿様

竹林はま様 111歳

生年月日 明治36年1月5日 左京区在住

新春のご挨拶

医療法人 社団 都会

理事長 渡辺 康介

No.36

研修報告

平成25年11月24日（日）大阪YMCA国際文化センターにて開催された研修に参加させて頂きました。

講師は中京大学法科大学院・元大阪地方裁判所判事の稻葉一人先生、箕岡医院・東京大医学系研究科の箕岡眞子先生による日常の臨床ケア現場に潜む倫理問題の解決を支援するには、事例を元にお話を下さいました。

倫理とは仲間の間で守るべき秩序・掻き合が社会の中で何らかの行為をする時「これは善いことか、正しいことか」と判断する際の根拠を言います。

倫理問題とは多くは患者と家族の意思決定に関する問題です。例えば患者がどういう治療をするのか、どういう人生を選ぶかといった意思決定を支援する事が、倫理問題を解決することに繋がります。その視点を持つには、自分たちの倫理に関連する気づきのレベルを知り、誰のための問題解決なのかを意識すること、チームとして普段からコミュニケーションと情報の共有に努めることなどが大切であると学びました。難しい研修でしたが、情報の共有と話し合いから学び、解決に向け更に向上していきたいと思います。

私は7月6日・7日に開催されました、日本ホームヘルプステーションで「そいでよか」と題するスピス・在宅ケア研究会第21回大会「そいでよか」に参加させて頂きました。

「そいでよか」とは長崎弁で、そのまま標準語に訳すと「それでいいよ」です。ですが少しニュアンスが違つてしまふ、方言独特の暖かみというか、包み込みというか、その様な微妙なニュアンスが含まれているそうです。

人生の最期が近い人やその家族の決心に対して、「いろいろ考えて悩んだ上で、そう思ったのを、包み込みといふか、その様な微妙なニュアンスが含まれているそうです。

その決意を私は伝えますよ。人の人生に決まりはないのだから」と答えるような感じだそうです。丁度私達の使っている関西弁でいう「かまへんよ」と同じ様なニュアンスであると思われます。

この一日間開催された大会で行われていたシンポジウムや講演では、利用者さんの考えに対し「そいでよかさ」という精神で関わりをもち、支えていかれたドクターや看護師、介護職の方々の貴重な体験談をお聞きしてきました。

私自身もこの「そいでよかさ」の精神と同じく、関西でいう「かまへんよ」という精神でこれからも利用者さんと接し、日々努めていきたいと思います。

会場には、様々な分科会やポスターセッションがあり、私は、約12件の事例・分科会に行き、グループホームでは、個々で頑張るのではなくチームワークが大切でありスタッフ間のコミュニケーションが大切であることを再確認できました。

今回の研修で学んだ、能力+やる気+地域力（つながり力）を磨いてゆき、少しでもより良いケアができ、ご入居者様方には癒しの場になるよう役立ててゆきたいと思います。

ホームヘルプステーションであります
伏田 雅津恵

小林 浩雄

グループホームほっこり庵
グループホームほっこり庵

認知症グループホームに学ぶ人間の物語
グループホームの存在意義とその本質
IN 岩手盛岡2013

第2回倫理コンサテーション研修会
(初級)

長崎研修

第四回日本認知症グループホーム大会

IN 岩手盛岡2013

新年の抱負

各事業所管理者



訪問看護ステーションにしがも 吉田 真美

新年、明けましておめでとつございました。平成22年、ステーションを開設して4年目を迎えます。看護スタッフ11名・リハビリスタッフ7名でスクラムを組んで、利用される方々に寄り添つていただきたいと思っています。

日々変化する情勢の中、スタッフそれぞれが自己研鑽に努め、笑顔・優しさ・思いやりを大切に、利用される方々と時間を共に過ごし、「一緒に、それぞれの物語を紡いでいきたい」と思っています。「24時間・365日在宅で療養される患者様を支えます」を理念に、本年度も頑張ります。至らぬ点もあるかとは思います、スタッフ一同、なお一層の努力を重ねてまいりますので、遠慮なくご指導くださいますように宜しくお願い致します。

渡辺西賀茂診療所 居宅介護支援事業所

樋口 孝子

介護保険がスタートして今年で14年、居宅介護支援事業所も14歳になります。7名のケアマネージャーが、介護を必要とするご利用者ご家族と、制度やサービスなどをつなぐ役割を担い、日々活動しています。様々な課題をかかえるケースが増えている昨今。医療・介護、福祉の多職種が連携し、その方が望む生活を実現するチームの要として、今年も頑張ります。よろしくお願いいたします。

ホームヘルプステーションひまわり

浅野 智美

良いお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もよろしくお願ひ致します。「ひまわり」は常勤登録ヘルパーを合わせて二十二名の訪問介護事業所です。全ヘルパーの七割が「ひまわり」に十年以上勤務しており、専門職としての目配りと家族のよくな心配りができる介護員の集団です。

利用者様が少しでも長く在宅生活を送り、その人らしく過ごして頂けるよう、今年も心を込めて支援していきたいと思っています。

ショートステイにしがも 大田 慶一

平成20年8月に当法人新規事業として開所し、今年で6年目を迎えます。開所より多くの皆様にご利用頂く中で、「ご家族には安心を、ご利用者はまた来たい」と思って頂けるショートステイを目指し、皆様から叱咤激励を頂きながら少しずつ歩んで参りました。平成26年も引き続き、皆様に愛される事業所となるよう職員一同「丸となつて励んで参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ほっこり庵 中島 直樹

今年でほっこり庵も13年目になります。ほっこり庵の管理者になつて4年目になりますが、毎年お別れがあります。昨年は5名の方を看取られました。人生の最期をここで迎えますが、最期まで関わせてもらえたありがとうございます。また、人生の最期をここで迎えられるので、私たちの関わり一つでその方の人生が良いものにも悪いものにもなり得ます。そんな責任やありがたさ、喜びや悲しみを共有しながら今年も頑張りたいと思います。

一乗寺ほっこり庵 濱口 史郎

笑顔はなによりの宝物だと思います。なにげない関わりの中から、自然にこぼれた入居者様の笑顔。入居者様のそんな笑顔が職員の大きな励みになります。短い時間であつても、ひとつひとつ関わり大事にし、入居者の笑顔を引き出していくこと。今年度は笑顔をキーワードとして、職員「丸となつて取り組んでいきたい」と思っています。

居宅支援事業所ひまわり 吉田美紀子

明けましておめでとうございます。当事業所は長岡天神の近くにあり窓からは西山連峰、遠くに比叡山が見えます。現在ケアマネージャー2人で長岡京市を中心に向日市と大山崎町の乙訓の皆様に様々なことを教えて頂きながらお仕事させて頂いております。今年は是非新しいアマネージャーを迎えて（ケアマネージャー募集中！）、たくさんの方々との和を築くことができればと願っております。本年もまたよろしくお願いいたします。

ホームヘルプステーションひまわり

浅野 智美

良いお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もよろしくお願ひ致します。「ひまわり」は常勤登録ヘルパーを合わせて二十二名の訪問介護事業所です。全ヘルパーの七割が「ひまわり」に十年以上勤務しており、専門職としての目配りと家族のよくな心配りができる介護員の集団です。

利用者様が少しでも長く在宅生活を送り、その人らしく過ごして頂けるよう、今年も心を込めて支援していきたいと思っています。

西賀茂デイサービス

藤井 洋靖

「好き」こそモノの上手なれ。」という言葉があります。しかし、その好きに勝るモノがあるとすれば、それは「楽しい」ということではないでしょうか。西賀茂デイサービスセンターでは毎日沢山のご利用者が来られていますが、私は日々人々本当に楽しく仕事をさせて頂いています。「デイ利用者とスタッフの笑顔が絶えないデイサービス」を目標に今年も精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

西賀茂デイサービス

宮迫 京子

「好き」こそモノの上手なれ。」という言葉があります。しかし、その好きに勝るモノがあるとすれば、それは「楽しい」ということではないでしょうか。西賀茂デイサービスセンターでは毎日沢山のご利用者が来られていますが、私は日々人々本当に楽しく仕事をさせて頂いています。「デイ利用者とスタッフの笑顔が絶えないデイサービス」を目標に今年も精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

ショートステイにしがも 大田 慶一

昨日は地域の人達につるさんかめさんはどうな所かを知つてもうう為に初めてバザーを開催しました。短い時間でしたがたくさんの方達が来て下さり大盛況でした。

昨年は地域の人達につるさんかめさんはどうな所かを知つてもうう為に初めてバザーを開催しました。短い時間でしたがたくさんの方達が来て下さり大盛況でした。

認知症高齢者が増え続ける今、私達の出来ることはたくさんあるはずです。それは何かを問いかけて下さり大盛況でした。

認知症の方々がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、地域の方達に認知症と認知症の役割だと考えています。

昨年は地域の人達につるさんかめさんはどうな所かを知つてもうう為に初めてバザーを開催しました。短い時間でしたがたくさんの方達が来て下さり大盛況でした。

認知症の方々がいつ